

皆さん、おはようございます。こうして皆さんとお話しするのは、2月8日の千里フェスタオープニング以来でしょうか。この間、いろいろなことがありました。皆さんは、後期期末考査がありましたね。あ、そうそう、進級おめでとございます。3月9日に、進級判定会議を行い、皆さんの進級が決定しました。中には、担任の先生から、「進級はしたけど、いくつかの単位を落としましたよ。来年度には、追認試験があるから、必ずそのチャンスを活かして、全部取るように。」と言われた人もいるでしょう。私からもいいます。担任の先生の言われたとおり、必ず全部の単位を取ってください。特に1年生、1年で落とした単位がそのままだと、2年生で落とした単位数に加算されてしまいます。2年生での学習は、もちろん1年生より難しくなりますので、2年生から3年生への進級のハードルがなおさら高くなります。もちろん2年生も同じですよ。ただね、進級や卒業ばかりを気にしているようでは、その先の進路実現などは、とてもおぼつきません。さらなる高みをめざすためにも、進級・卒業など、余裕でクリアするくらいに、日々の学習を大切に、力をつけてください。

さて、この場には3年生は、もういません。3月1日に、無事卒業式を終え、309名がとてもいい顔をして、元気に千里高校を巣立っていきました。1年後の2年生の姿ですね。また明日の10時から、一般選抜の合格発表を行います。その瞬間、帰国生選抜を除く315名の合格者が歓喜の声を上げてくれることでしょう。1年前の1年生の姿ですね。ここで皆さんにお礼とお詫びをしておかなければなりません。3月9日の検査会場設営後から選抜、採点、合否判定作業中の3月17日まで、校内への立ち入りを禁止し、部活動の練習を制限しました。練習したくて、うずうずしていた人もあったことでしょう。ご迷惑をおかけしましたが、おかげさまで、合格者を決定し、明日発表することができます。

このように、日本の春は、別れと出会いの季節です。皆さんも4月に入ると、これまでのクラスと別れ、新しいクラスメイトとの出会いがあることでしょう。人と人との出会いは、別れの始まりであり、人生におけるそれぞれの瞬間は、1回限りのものです。人生は、決してゲームではなく、リセットボタンなどは、付いていません。しかしやり直すことができないから、元の時間に戻れないから、人生は、面白いのです。人と人との出会いに感謝し、その瞬間を大切に、誠意を持って接し、そして自分の進むべき道をしっかりと選び、「一期一会」の人生をたくましく生き抜いてください。今日は、俳句を紹介します。

行く春や鳥啼き魚の目は泪
行く春や一期一会の旅鳥

出典と解釈は、自分で調べてくださいね。

さて2年生、皆さんが最上級生として、これからの千里高校を背負っていきます。この春休み、来春の入試に向け、学習の基礎を固め、進路への決意を新たにしてください。また部によっては、部活動に打ち込める最後の長期休業となります。合宿を行う部もあるでしょう。この春休み、悔いのない練習を重ねてください。今日という日は、2度と来ませんから。私の年度末の終業式のあいさつには、「テニスの王子様」の手塚主将が登場します。青春学園中等部硬式テニス部主将の手塚国光君が、第26話で、1年生の越前リョーマ君に、言った言葉「越前、お前は、青学の柱になれ!」。この言葉を、2年生に贈ります。「2年生、千里の柱になれ!」。そして

「まだまだだね。」

「You still have lots more to work on.」

などと言われないように。

最後に1年生、4月から新1年生52期生が入学してきます。1年生も、「先輩!」と呼ばれることでしょう。どうか新入生を迎えて、良き先輩として、新入生を導き、2年生と力を合わせて、千里高校を、なお一層すばらしい学校にしてください。これからの千里高校を、ここにいる全ての皆さんに託します。これで私の挨拶を終わります。